

全国英語教育学会 令和4年度第2回理事会議事録

■日 時：2022年8月5日（金）17：00～20：00

■会 場：Zoomによるオンライン開催

■出席者：

深澤清治（会長），里井久輝（副会長・会長代行），斉田智里（副会長），久保田佳克（副会長，理事・東北），笠原究（理事・北海道），志村昭暢（理事・北海道），佐藤博晴（理事・東北），西垣知佳子（理事・関甲信），加藤茂夫（理事・関甲信），酒井英樹（理事・中部），泉恵美子（理事・関西），横川博一（理事・関西），高橋俊章（理事・中国），猫田英伸（理事・中国），齋藤嘉則（理事・四国），長崎政浩（理事・四国），石原知英（理事・九州）

<以下，オブザーバー>

宮迫靖静（紀要編集委員長），三ツ木真実（幹事・北海道），滝沢雄一（幹事・中部），猫田和明（幹事・中国），水野康一（幹事・四国），麻生雄治（幹事・九州），鬼田崇作（事務局長），山内優佳（事務局長補佐），大下晴美（財務部副部長），石井雄隆（広報通信部部長），森好紳（学生支援部部長）

- ・ 議題に先立ち，深澤会長の挨拶が行われた。
- ・ 鬼田事務局長より，第1回理事会から関西英語教育学会の幹事（平野亜也子）が交代したことの報告があった。

■議題：

(1) 事務局から総会に提起する議題について

1) 会長選挙結果報告

里井選挙管理委員より，資料 1-1 にもとづき，選挙の経過及び結果の報告がなされ，審議の結果，原案どおり承認された。

2) 2021 年度会務報告

鬼田事務局長より，資料 1-2 にもとづき，2021 年度の会務報告について説明があり，審議の結果，原案どおり承認された。

3) 2021 年度会計報告

猫田英伸財務部長より，資料 1-3 にもとづき会計報告があり，審議の結果，原案どおり承認された。

4) 2021 年度会計監査報告

鬼田事務局長（代理）より，資料 1-3 にもとづき会計監査報告があり，審議の結果，原案どおり承認された。

5) 2022 年度事業計画

鬼田事務局長より、資料 1-4 にもとづき、2022 年度の事業計画について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

6) 2022 年度予算案

猫田英伸財務部長より、資料 1-5 に基づき予算案が説明され、審議の結果、原案どおり承認された。

7) その他

(2) 第 48 回香川研究大会及びシンポジウム、ワークショップについて

齋藤実行委員長および水野幹事より、香川研究大会について、資料 2-1 にもとづき、2023 年 8 月 19 日・20 日に、香川大学を会場とした対面開催が計画されていることが説明され、審議の結果、原案どおり承認された。

あわせて、長崎研究大会企画部副部長より、シンポジウム及びワークショップについて、資料 2-2 にもとづきシンポジウム及びワークショップについて原案が示された。酒井理事より、次期指導要領改訂を見据えた内容も含めて議論できると良いとの提案があり、シンポジウムの趣旨について、大会企画部で継続検討されることとなった。

(3) 紀要編集委員会からの提案について

宮迫紀要編集長より、資料 3 にもとづき、執筆要項等について説明がなされ、審議の結果、原案どおり承認された。

(4) 学会 50 周年記念事業について

横川理事より、資料 4-1 にもとづき、第 50 回研究大会記念事業 WG（後に編集委員会に改組）の経過として、記念書籍について、40 周年記念誌の全体的な構成を踏襲しつつ、現在に特有なトピックを交えながら、実践と理論のいっそうの統合を指向する書籍の刊行を目指しているとの説明がなされた。斉田副会長より、執筆の方向性について、40 周年記念誌発行後の ARELE の 10 年間の研究動向とするのか、ARELE に限定しない概論とするのかを明確にすると良いとの提案があり、編集委員会において検討・意思統一を図ることが確認された。

久保田理事より、資料 4-2 にもとづき、『全国英語教育学会 50 年沿革史』編集の経過について説明がなされた。40 周年以降の学会の歩みについて、今後、原稿依頼をすることになる。

上記 2 点について、審議の結果、原案どおり承認された。

(5) その他

特になし

■報告事項：

(1) 第47回北海道研究大会について

笠原大会実行委員長，志村大会事務局長より，大会実施について，Webサイトにもとづき説明がなされた。現在，582名の参加登録，144の発表申込がある。

(2) 第49回福岡研究大会について

石原大会事務局長より，資料5にもとづき，日程（2024年8月24日・25日）と実施形式（現在は対面実施の計画，於：福岡工業大学）について説明がなされた。

(3) 「英語教育セミナー」の募集について

鬼田事務局長より，セミナーの募集について案内があった。

(4) 事務局内各部における活動について（経過報告）

- ・ 猫田英伸財務部長より，資料6-1にもとづき，協賛企業ブースについて案内があった。
- ・ 石井広報/通信部長より，資料6-2にもとづき，Newsletter及びウェブサイトの更新情報について報告があった。
- ・ 森学生支援部長より，資料6-3にもとづき，北海道研究大会において実施予定の大学生・大学院生フォーラムについて説明がなされた。研究大会参加助成金制度については，オンライン開催の今年度は執行されていないことが報告された。

(5) 言語系学会連合について

鬼田事務局長より，資料7-1・7-2にもとづき，言語系学会連合（UALS）の運営委員会の参加について説明がなされた。また，共催制度を利用し，関東甲信越英語教育学会の月例研究会が開催されたことが報告された。

(6) その他

特になし